

B 表

平成 17 年度 共通教育 授業内容表

|   |  |   |  |
|---|--|---|--|
| 授業科目<br>商標法<br><br>英文名 : Trademark Law<br><br>主題 : I<br><br>分野 : 社会<br><br>2 単位 |  | 授業のテーマおよび目標<br>社会における商標の役割<br>商標の法上の取扱いだけでなく、社会における実情から、商標の意義と保護価値を学習する。  |  |
| 前 期<br><br>水 曜日<br><br>9 ~ 10 時限  |  | 後 期<br><br>曜日<br><br>~ 時限   |  |
| 担当教官<br><br>笠 井 美 孝   |  | 授業内容<br>1 . 商標とは何かを、法律規定から講義する。<br>2 . 商標に独占権を付与する趣旨を考える。<br>3 . 商標権の効力を講義する。<br>4 . 商標を保護する制度を、他の産業財産権や不正競争防止法との関係を考慮して理解する。<br>5 . 講義では、適宜資料を配布し、実際の社会での係争事件を、判例を対象として検討する。<br>[ 授業計画 ]<br>第 1 回 商標と私達の関わり<br>第 2 回 知的財産権と産業財産権<br>第 3 回 商標の概念および機能<br>第 4 回 商品と役務および標章の使用<br>第 5 回 商標の登録要件 ( 自他商品識別力 )<br>第 6 回 商標の登録要件 ( 具体的登録要件 )<br>第 7 回 商標の出願から登録までの流れ<br>第 8 回 商標権の効力と侵害<br>第 9 回 商標権の財産的活用<br>第 10 回 商標の国際的保護<br>第 11 回 社会における商標の事例<br>第 12 回 社会における商標の事例 ( 係争 )<br>第 13 回 社会における商標の事例 ( 係争 )<br>第 14 回 社会における商標の事例 ( 係争 )<br>第 15 回 定期試験 |  |
| 教科書・参考書<br>後日示す   |  | 成績評価の方法<br>途中及び最終のレポート 70% , 出席 30%   |  |
| その他   |  | その他   |  |